

# おきたま 米づくり情報No.11

令和5年8月31日  
置賜農業技術普及課  
西置賜農業技術普及課

## 猛暑続きで急激に登熟進む！刈取り 10 日早い！

- 高温で成熟期が早まるため、積算平均気温 50℃前倒し  
⇒**刈取時期の目安が例年よりも 10 日程度早い！**  
8月2日出穂「はえぬき」「雪若丸」の適期刈取り期間は**9/4~9/14**  
8月8日出穂「つや姫」の適期刈取り期間は**9/13~9/23**
- 圃場ごとに刈取り診断を！**籾数が少ない圃場では急激に登熟進む！**
- 全品種の出穂期間で胴割粒リスクの高い温度を超えている  
⇒刈遅れると**胴割粒の危険大！「つや姫」は特に注意！**

### m<sup>2</sup>あたり籾数の多少による登熟進度の差が大きい。

- 出穂は、平坦部「はえぬき」、「雪若丸」が8月2日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」が8月8日頃となり、平年より3日早まりました。
- 登熟進度は平年より早く進んでいます。

農業技術普及課 生育診断圃 穂揃期の生育・登熟状況

品種	地域	年次	出穂期	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1 穂籾数 (粒)	m <sup>2</sup> あたり籾数 (百粒/m <sup>2</sup> )	登熟状況 8/29 現在 (%)
はえぬき	川西町 吉田	R5	8/4	525	67.8	356	67.0
		平年	8/4	521	69.4	362	49.6
		平年比・差	<b>±0</b>	<b>101</b>	<b>98</b>	<b>98</b>	<b>+17.4</b>
	飯豊町 椿	R5	8/1	485	73.5	356	81.5
		平年	7/31	564	69.9	399	68.5
		平年比・差	<b>+1</b>	<b>86</b>	<b>105</b>	<b>89</b>	<b>+13.0</b>
つや姫	川西町 黒川	R5	8/7	533	69.0	368	50.9
		平年	8/9	483	71.0	343	27.9
		平年比・差	<b>-2</b>	<b>110</b>	<b>97</b>	<b>107</b>	<b>+23.0</b>
	飯豊町 椿	R5	8/7	452	71.1	321	60.7
		平年	8/9	491	72.0	353	27.7
		平年比・差	<b>-2</b>	<b>92</b>	<b>99</b>	<b>91</b>	<b>+30.0</b>
雪若丸	高畠町 山崎	R5	8/1	584	60.7	354	85.0
		平年	8/3	546	58.6	318	65.3
		平年比・差	<b>-2</b>	<b>107</b>	<b>102</b>	<b>111</b>	<b>+18.9</b>
	飯豊町 椿	R5	8/1	600	62.5	375	81.8
		平年	7/31	626	58.0	363	70.5
		平年比・差	<b>+1</b>	<b>96</b>	<b>108</b>	<b>103</b>	<b>+11.3</b>

## 稲をよく観察し適期内に刈取を終了！

○刈取時期は、出穂後の積算気温（下表）を目安とし、品種、ほ場ごとに

**①青籾歩合、②籾水分（25%）、③枝梗の黄化（3分の2以上）**等を確認して総合的に判断。計画的に刈取を開始し、適期内に終了しましょう。

出穂後積算気温による刈取適期を目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈始めの青籾歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	900～1,050℃	15%	8月1日頃	9月3日～9月9日
はえぬき（平坦）	900～1,150℃	20%	8月2日頃	9月4日～9月14日
はえぬき（中山間）			8月5日頃	9月5日～9月16日
雪若丸	900～1,150℃	20%	8月2日頃	9月4日～9月14日
つや姫	950～1,150℃	15%	8月8日頃	9月13日～9月23日
コシヒカリ	950～1,150℃	15%	8月8日頃	9月13日～9月23日

※8月29日まで本年値、9月22日までは2週間予報、1ヶ月予報による予測値、以降は平年値を使用。

## 乾燥・調製は慎重に！

○収穫後は、速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

○高水分籾（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。青籾が多い（籾水分のバラつきが大きい）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。

○籾すりは、籾を十分放冷し、適正水分であることを確認してから行います。籾すり前に必ず試しすりを行い、ロールの幅を調整し、肌ずれや胴割粒の発生を防ぎましょう。

○立毛中に胴割粒が多いと予想される場合は、通常を送風温度より5～10℃低めの送風を行い、毎時乾減率を0.6%以下とし、胴割粒増加を防ぎましょう。

○**良質米生産のために、1.90mm網目（LL）以上で選別します。**

## 雑草イネの発生に注意！

**穂を触ったら籾がポロポロ落ちる、**

**玄米に赤米が混じる場合は雑草イネの可能性大！**

置賜地域で主に赤いノゲが特徴の「背高型」と栽培品種とほぼ見た目が一緒の「擬態型」の2種の雑草イネが確認されています。

雑草イネを見つけた場合は、すぐに最寄りの普及課やJAにご相談ください。



## 農作業事故・熱中症に注意！～あせらず！気もまず！農作業！

○収穫期はコンバインの事故が多発します。補助者の事故にも要注意。

○コンバインの詰まり除去や修理の際は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。